



夢や目標を持ち、生活習慣を整え、 自主的に学び続ける杉っ子をめざして

校長 山崎 泰央

大寒とは思えない暖かさに梅の開花の便りも聞かれるようになりました。

さて、箱根駅伝（東京箱根間往復大学駅伝競走）は今や正月の風物詩ですが、我が家でもテレビ観戦が恒例行事となっています。今年は、昨年優勝を逃し 5 連覇の記録が途絶えた青山学院大学が 2 年ぶりに優勝を取り戻しました。原晋監督の著書を改めて読み返してみても、学校教育で子どもに力をつけることと駅伝選手を育成することとは共通点が多いことを感じました。

著書には、強いチームを作るためには、生まれつき才能に恵まれている選手を集めることよりも、自分の目標を持ち目標に向けてひたむきに努力できるしっかりとした選手を育てることが大切だとありました。また、目標に具体的な数字を入れて自分の成長をイメージしたり、どんな課題を克服するかを書いて行動につなげたりすることも効果的だと書かれていました。さらに、監督が練習内容を決めるのは週 3 日で、1 日はオフ、残り 3 日は選手が練習内容を自分なりにアレンジします。この選手自身が決めた練習内容によって力の差が出てくるようです。学校でいえば、学校から出される宿題と自分で何をしようかと考えて取り組む自主学習のようなものではないでしょうか。生活面でも、部員は、5 時起床で 22 時 15 分消灯、朝食と夕食は栄養面を管理された寮の食事です。食堂や廊下などの共有部分は全員で掃除もします。これら人として当たり前のことを当たり前に行うことで、チームは強くなるそうです。

本校も、夢や目標を持って実現に向けて努力することや、凡事徹底することをずっと大切にしてきました。実は、児童の中に、暑い日も寒い日も毎朝バス停に立って、バス通の児童を迎えてくれる子どもがいます。始めたきっかけは、「自分も横断旗を持って交通安全の手伝いをしたり、あいさつをしたりしたい」ということだったと思います。この子は、毎日の自主的な活動が続けることが自信になり、学校でもいろいろな仕事にやる気をもって取り組んでいる姿が見られます。このようなことはなかなかできませんが、3 学期は、どの子も、少し努力すれば達成できそうで毎日取り組める目標（例「○分頑張る」「○回取り組む」「漢字を○字書く」など）を持ち、努力を続けることで自分の成長を自覚できるようになればと思っています。また、決められた宿題のみで終わるのではなく、苦手なことやもっと伸ばしたいところなどを自分で考えながら、自主学習や予習・復習に取り組んでほしいです。凡事徹底（人として当たり前のことを続けること）が大切なことも改めて感じました。本校の子どもたちも、「み・そ・あ・じ」（**み**じたくを整える。**そ**うじを頑張る。**あ**いさつをする。**じ**かんを守る。）に取り組むことにより、少しずつ落ち着いた生活ができるようになってきています。

今年度もあと 2 か月、「夢や目標を持ち努力し続けること」「自主的に学び続けること」「生活習慣を整えること」を大切にし、生き生きと学校生活を送り自分の可能性を伸ばしていく杉っ子を育てていきたいと思っています。